

論点等説明シート

事業名

地域型住宅グリーン化事業

担当部局庁

住宅局

事業についての論点等

○事業の背景

- ・投資余力の減少、環境制約の高まりが見込まれる中、住宅の寿命を延ばし、資産として次の世代に承継されるよう、長期間にわたって使用可能な良質な住宅ストックの形成が必要。また、地球温暖化対策としてCO2排出量を削減するため、住宅の省エネルギー性能の向上が必要。
- ・中小住宅生産者は、木造住宅供給の主力であり、地域の住宅産業の主要な担い手であるが、資力や技術力、経験が十分でないことが多く、個々の事業者の自助努力によるだけでは長寿命化や省エネルギー化等の住宅の質の向上を実現することは困難。
- ・国民の3/4が木造住宅を志向していること、国内の森林資源の蓄積を受けた木材利用の促進が求められていることを受けて、また、木材利用の促進による林業・木材産業の成長産業化を通じた地方創生の実現に向けて、地域材を活用した木造住宅の供給が必要。
- ・このため、中小住宅生産者が、地域の関連事業者とグループを構築して行う良質な木造住宅の供給を支援し、こうした取組を効果的かつ継続的なものとして展開。

①本事において対象として設定されている住宅や住宅生産者等の要件は、耐久性や省エネルギー性能に優れた良質な住宅の普及という政策目的に照らして妥当なのか。

②本事業の実施に要する費用は、これにより得られる住宅の質の向上に照らして妥当なものとなっているのか。